

2016年春季(第158回)講演大会記録

2016年春季講演大会は、3月23日から25日の期間、東京理科大学葛飾キャンパスにおいて開催した。

- 3月23日(9:00~9:40) 開会の辞、大韓金属・材料学会代表挨拶、TMS代表紹介、各賞贈呈式(図書館棟大ホール)
- (9:50~11:40) 学会賞受賞記念講演、本多記念講演(図書館棟大ホール)
- (13:00~17:10) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演(講義棟)
- (12:30~17:00) ポスターセッション(図書館棟3階ホワイエ)
- (18:00~20:00) 懇親会(管理棟食堂2階)
- 3月24日(13:00~17:55) 一般講演、シンポジウム講演、名誉員推戴記念講演、受賞講演、Young Leader International Scholar講演、共同セッション(講義棟)
- 3月25日(9:00~16:45) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション(講義棟)
- 3月23日~3月25日 総合受付、金属組織写真展示、付設機器・カタログ展示会(講義棟2階)

開会の辞

福富洋志会長より開会の挨拶があった。

大韓金属・材料学会(KIM)代表挨拶(3月23日)

本会と大韓金属・材料学会との学術交流協定にもとづき、Chong Soo Lee 会長が来日し挨拶した。



開会の挨拶：福富会長。



KIM Chong Soo Lee 会長の挨拶。

TMS 代表紹介(3月23日)

本会とTMSとの国際交流促進協定にもとづき、TMSから第11回 Young Leader International Scholarとして来日した代表者 Saryu Fensin 氏が紹介された。

贈呈式(3月23日)

福富洋志会長の式辞に続き、下記の贈呈式を行った。

第61回学会賞贈呈式 岡田益男君に対して賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者；本誌181頁)

第57回技術賞贈呈式 2名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌182頁)。

第66回金属組織写真賞贈呈式 最優秀賞1件および優秀賞2件に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌182頁)。

第47回研究技術功労賞贈呈式 10名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌184頁)。

第74回功績賞贈呈式 8名(物性部門1名、組織部門2名、力学特性部門1名、材料化学部門1名、材料プロセッシング部門1名、工業材料部門1名、工業技術部門1名)に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌186頁)。

第55回谷川・ハリス賞贈呈式 4名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌187頁)。

第22回増本量賞贈呈式 2名に対し賞状ならびに副賞贈呈(受賞

者；本誌188頁)。

第24回若手講演論文賞贈呈式 3名に対し賞状贈呈(受賞者；本誌184頁)。

名誉員推戴式 新名誉員1名に対し推薦状ならびに名誉員章贈呈(受賞者；本誌189頁)。

第61回学会賞受賞記念講演(3月23日)

「水素の有効機能と超高压法による新規水素化合物・新規金属間化合物の合成」

八戸工業高等専門学校校長・東北大学名誉教授 岡田益男 君

第61回本多記念講演(3月23日)

「ステンレス鋼の不動態と局部腐食研究の進歩」

東北大学理事・工学研究科教授 原 信義 君



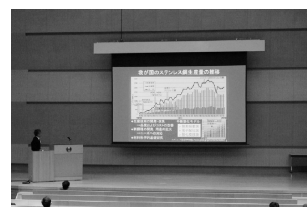
おめでとうございます！



新名誉員：佐久間健人先生。



学会賞：岡田先生によるご講演。



本多記念講演：原先生によるご講演。

懇親会(3月23日)

学内の食堂2階において日本鉄鋼協会と合同で開催(参加者は253名、本会への申込者・招待者97名)。

開会の辞・司会

東京理科大学教授 石黒 孝

来賓挨拶

東京理科大学 副学長 山本 誠

日本鉄鋼協会会長挨拶

東京工業大学教授 加藤雅治

日本金属学会会長挨拶・乾杯

横浜国立大学教授 福富洋志

懇 談

閉会の辞

東京理科大学教授 石黒 孝



山本副学長によるご挨拶。



福富会長による乾杯！

大会参加者 1,390名(一般774名、学生員428名、非会員一般80名、非会員学生13名、相互聴講95名)



TMS Young leader(中央)とお世話役の御手洗理事(左)。

学術講演会(3月23日～25日)

最終講演件数755件

欠講3件(講演番号:一般No. 15, No. 152 ポスターP125)

学会賞受賞記念講演1件, 本多記念講演1件

公募シンポジウム講演4テーマ76題(基調講演25題, 応募講演51題)

一般講演522題(功績賞受賞講演8題, 谷川・ハリス賞受賞講演4題, 増重量賞受賞講演2題, 技術賞受賞講演2題, Young Leader Scholar 講演1題含む)

共同セッション14題

ポスターセッション141題

講演会場 18会場

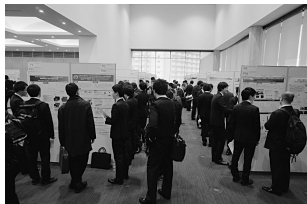
第26回ポスターセッション(3月23日)

3月23日12:30～17:00の時間に図書館棟3階ホワイエで141件のポスター発表が行われ, そのうち優秀ポスター賞にエントリーおよび審査対象となっている138件の内容・発表について審査が行われた。

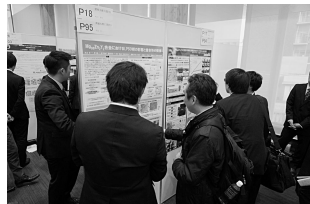
第1部(12:30～14:30)77件, 第2部(15:00～17:00)64件の二部構成で開催。

一般講演は15時で終了とし, 多数の聴講者がポスターセッション会場へ足を運んでいた。

3月24日「優秀ポスター賞」35名が決定し, 受賞者を本会ホームページに掲載した。(第26回優秀ポスター賞受賞者; 本誌190頁)



141件のポスター会場。



熱気あふれるポスター発表。

金属学会・鉄鋼協会共同セッション

「チタン・チタン合金」21題(金属8題, 鉄鋼13題)は3月24日, 金属学会D会場で開催した。

「超微細粒組織制御の基礎」5題(金属3題, 鉄鋼2題)は3月23日, 鉄鋼協会第13会場で開催した。

「マイクロ波応用プロセッシング」8題(金属3題, 鉄鋼5題)は3月25日, 金属学会Q会場で開催した。

第11回 JIM/TMS Young Leader International Scholar Program (3月24日)

若手研究者の活動の活性化とTMSとの国際交流促進を目的に06年より設けられたJoint JIM/TMS Young Leader International Scholar Programとして, TMSから派遣された代表者 Saryu Fensin氏が一般講演「疲労・破壊」の中でYoung Leader International Scholar 講演発表後, 座長より賞状が授与された。



Saryu Fensin氏による一般講演。



榎座長と一緒に。

第1回企業ランチョンセミナー(3月24日)

今大会から, 昼休み時間帯に昼食(軽食)をとりながら, 講演大会参加者に最新の技術情報を聴講いただく, ランチョンセミナーを開催した。

以下の5社が各5会場で30分程度のセミナーを行い, 参加者

数は5社で合計184名であった。

参加者および参加企業共に好評であった。

(参加企業)

アジレント・テクノロジー㈱

日本エフイー・アイ㈱

日本電子㈱

㈱日立ハイテクノロジーズ

㈱TSL ソリューションズ



第8回男女共同参画ランチョンミーティング(3月25日)

「出産が仕事に与えた advantage ～冶金を軸に金属の外を歩く～」をテーマに旭硝子の中田英子氏が講演を行った。

参加者27名



梅津男女共同参画委員長のご挨拶。講演後のディスカッションの風景。



付設機器・カタログ等展示会(第36回)

機器展示24社, カタログ展示3社より出展の協力を得た。展示会場は講義棟2階1室で開催した。各社のご厚意に感謝いたします。

託児室

3月24日(水)～25日(金)子供1名利用。支障なく終了した。

【大会雑記】

東京理科大学での開催は2013年春期講演大会に続き, 3年ぶり5回目の開催となるが, 2014年に新しくできた葛飾キャンパスでは初めて開催した。

講演会場は講義棟1階, 3階～4階と同一建物の中にまとまった会場であった。

2階には, 金属学会と鉄鋼協会の受付および付設機器展示会場があり, 日本鉄鋼協会の会場(講義棟5階～6階)とも行き来し易く, 参加者には好評であった。

大会前日に開催した第2回企業説明会は企業47社, 学生131名の参加があり, 盛会裡に終了した。

比較的暖かい日が続き, キャンパスの桜も開花し始めた好天候の中, 3日間無事に講演を終了することができた。

東京理科大学教職員関係者ならびに事務関係者の皆様にはお忙しい中を諸般にわたり終始, 万端のご配慮をいただき, ご協力に対し心から厚く御礼申し上げます。

